


セミナー内容 & スライド資料

☑ 約15種類の教本について、それぞれの特徴・ポイントをとりまとめ

☑ 「楽譜ナビPLUS+」におけるピアノ講師への教材アンケート回答コメントを反映

2010年以降発売の教本 (1)

音友 **はじめてのピアチャレ**



- 2023年に出版されたシリーズ (著者・山本美芽先生)
- 子供に知られている曲中心で4・5才から始められる
- 「白抜き音符」や「指番号」で現代の忙しい子供でも一人で進まれるよう工夫
- 「さいしょ／ぜんぶチャレンジ」で段階的に少しずつ進む

現役ピアノ講師の方からのコメント

「はじめてのピアノアドベンチャー」

ピアノ・アドベンチャー 全音

スケール&コードブック 1 / 2 / 3



公式サイトに「体験版」ダウンロードページあり



- 伴奏をスマホで流せて速さも変えられる
「アドベンチャーからやりたい!」と生徒が楽しそう
「ブックA」を終えたら他の教本に移行する
- 小さな子供でも無理なく進め、初見や即興演奏も体験させられる
音源が素晴らしい
- 生徒がやりたいページから自由にできるので、能動的なレッスンを進められる。
作曲家や音楽史の導入としても使える
- テクニック/セオリー/音楽史が曲とリンクして無理なく学習できる
全調やコード、即興など総合的に学べる
- 他の教材を組み合わせていたがこれで全て賅える
最近の子供は音楽を聴くことが少ないのでCDを聴いて耳から入れることで歌心を養える
- クラシック以外のジャンルにも触れられるし、ピアノ以外のクラシックも数多く紹介されている

☑ 「ピアノ教本の歴史」を踏まえた教本の特徴解説

☑ 「大人向けピアノ教本」についても追加紹介


ピアノ教本の歴史の流れ

海外で出版された時代によって、教本の内容・性格が変化していく

欧米	日本
1850年頃 バイエルピアノ教則本 (ドイツ)	1880年 バイエル (アメリカから)
1901年 メトードローズ・ピアノ教則本 (フランス)	1930年頃 バイエル (全音より出版)
1936年 「ミドルC方式」導入 トンプソン現代ピアノ教本	
1950年 4期のスタイル導入 リラ・フレッチャー バーナムピアノテクニック	1951年 メトードローズ
1961年 世界初の全調メソッド ベースピアノ教育シリーズ	1955年 全音こどものバイエル
1967年 グローバーピアノ教本	1957年 みんなのオルガンピアノの本
1971年 アルフレッド・ピアノライブラリー	1972年 トンプソン現代ピアノ教本
	1974年 リラ・フレッチャー
	1975年 バーナムピアノテクニック
	1979年 グローバーピアノ教本
1985年 バスティン・ピアノベーシックス	1989年 バスティン/うたとピアノの絵本
	1991年 ピアノランド
	1992年 アルフレッド・ピアノ〜
	1993年 びあのどりーむ
1993年 ピアノ・アドベンチャー	1999年 ピアノひけるよ!ジュニア
	2003年


大人のためのピアノ教本

ドレミ楽譜出版 「おとなのためのピアノ教本」シリーズ



- 「1」がバイエル前半程度 / 「2」が後半程度
- 音名表記はなし / 最低限の指番号のみ表記
- コード・ネームに従って伴奏をつけて弾けるように

ドレミ楽譜出版 「シニア・ピアノ教本」シリーズ



- 「おとなのためのピアノ教本 1」導入部分をやさしく改編
- 「おとなのためのピアノ教本」よりも譜面がやや大きめ
- 「1」はほぼ伴奏つき (コード・ネームは「2」から)